

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和1年12月19日(2019.12.19)

【公表番号】特表2018-535261(P2018-535261A)

【公表日】平成30年11月29日(2018.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2018-046

【出願番号】特願2018-545102(P2018-545102)

【国際特許分類】

C 07 D 471/04	(2006.01)
A 61 K 31/4439	(2006.01)
A 61 K 31/444	(2006.01)
A 61 P 1/04	(2006.01)
A 61 P 25/00	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)

【F I】

C 07 D 471/04	1 0 8 Q
C 07 D 471/04	C S P
A 61 K 31/4439	
A 61 K 31/444	
A 61 P 1/04	
A 61 P 25/00	
A 61 P 43/00	1 1 1

【手続補正書】

【提出日】令和1年11月7日(2019.11.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

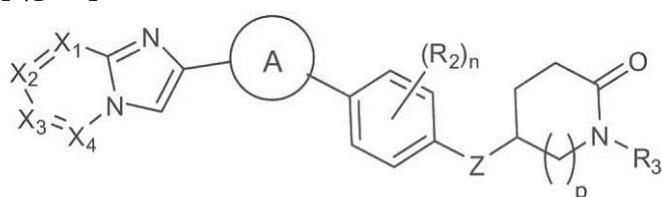
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な塩または溶媒和物であって、

【化1】



式(I);

式中、

X₁、X₂、X₃、およびX₄はそれぞれCR₁であり、あるいは、

X₁はNであり、X₂、X₃、およびX₄はそれぞれCR₁であり、あるいは、

X₂はNであり、X₁、X₃、およびX₄はそれぞれCR₁であり、あるいは、

X₃はNであり、X₁、X₂、およびX₄はそれぞれCR₁であり、あるいは、

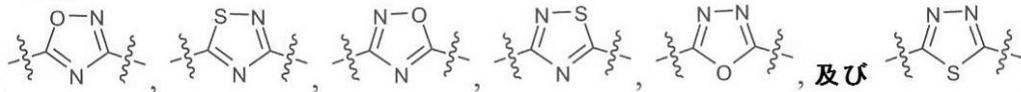
X₄はNであり、X₁、X₂、およびX₃はそれぞれCR₁であり、

【化2】



は

【化3】



から選択され、

Z は - O - 、 - S - 、 - N (R_4) - 、 - CH₂ - 、 - OCH₂ - 、あるいは - CH₂O - であり、

R_1 はそれぞれ、水素、ハロゲン、随意に置換された C₁ - C₆ アルキル、随意に置換された C₂ - C₆ アルケニル、随意に置換された C₂ - C₆ アルキニル、随意に置換されたアリール、随意に置換されたヘテロアリール、随意に置換された C₃ - C₈ シクロアルキル、随意に置換された - (C₁ - C₂ アルキレン) - (C₃ - C₈ シクロアルキル)、随意に置換された C₂ - C₉ ヘテロシクロアルキル、随意に置換された - (C₁ - C₂ アルキレン) - (C₂ - C₉ ヘテロシクロアルキル)、随意に置換された - (C₁ - C₂ アルキレン) - (アリール)、随意に置換された - (C₁ - C₂ アルキレン) - (ヘテロアリール)、- CF₃、- OR₁₀、- SR₁₀、- N(R₁₁)R₁₂、- N(R₁₁)S(O)₂R₁₅；- N(R₁₃)N(R₁₁)R₁₂、- N(R₁₃)N(R₁₁)S(O)₂R₁₅、- C(O)R₁₄、- C(O)OR₁₀、- C(S)OR₁₀、- C(O)SR₁₀、- C(O)N(R₁₁)R₁₂、- C(S)N(R₁₁)R₁₂、- C(O)N(R₁₁)S(O)₂R₁₅、- C(S)N(R₁₃)N(R₁₁)R₁₂、- C(S)N(R₁₃)N(R₁₁)R₁₂、および - C(O)N(R₁₃)N(R₁₁)S(O)₂R₁₅ からなる群から独立して選択され、

R_2 はそれぞれ、ハロゲン、随意に置換された C₁ - C₆ アルキル、- OR₂₀、- SR₂₀、- N(R₂₁)R₂₂、- C(O)R₂₀、- C(O)N(R₂₁)R₂₂、および - N(R₂₃)C(O)R₂₀ からなる群から独立して選択され、

R_3 は水素、随意に置換された C₁ - C₆ アルキル、随意に置換された C₂ - C₆ アルケニル、随意に置換された C₂ - C₆ アルキニル、随意に置換された C₃ - C₈ シクロアルキル、随意に置換されたアリール、随意に置換された - (C₁ - C₂ アルキレン) - (アリール)、随意に置換されたヘテロアリール、および、随意に置換された - (C₁ - C₂ アルキレン) - (ヘテロアリール) からなる群から選択され、

R_4 は水素あるいは随意に置換された C₁ - C₆ アルキルであり、

R_{10} 、 R_{13} 、および R_{14} はそれぞれ、水素、随意に置換された C₁ - C₆ アルキル、随意に置換された C₂ - C₆ アルケニル、随意に置換された C₂ - C₆ アルキニル、随意に置換された C₃ - C₈ シクロアルキル、随意に置換されたアリール、随意に置換された - (C₁ - C₂ アルキレン) - (アリール)、随意に置換された C₂ - C₉ ヘテロシクロアルキル、随意に置換されたヘテロアリール、および、随意に置換された - (C₁ - C₂ アルキレン) - (ヘテロアリール) からなる群から独立して選択され、

R_{11} および R_{12} はそれぞれ、水素、随意に置換された C₁ - C₆ アルキル、随意に置換された C₂ - C₆ アルケニル、随意に置換された C₂ - C₆ アルキニル、随意に置換された C₃ - C₈ シクロアルキル、随意に置換されたアリール、随意に置換された - (C₁ - C₂ アルキレン) - (アリール)、随意に置換された C₂ - C₉ ヘテロシクロアルキル、随意に置換されたヘテロアリール、および、随意に置換された - (C₁ - C₂ アルキレン) - (ヘテロアリール) からなる群から独立して選択され、あるいは、随意に、 R_{11} と R_{12} はそれらが結合している窒素原子と一体となって、随意に置換された C₂ - C₉ ヘテロシクロアルキル環を形成し、

R_{15} は、随意に置換された $C_1 - C_6$ アルキル、随意に置換された $C_2 - C_6$ アルケニル、随意に置換された $C_2 - C_6$ アルキニル、随意に置換された $C_3 - C_8$ シクロアルキル、随意に置換されたアリール、随意に置換された - ($C_1 - C_2$ アルキレン) - (アリール)、随意に置換された $C_2 - C_9$ ヘテロシクロアルキル、随意に置換されたヘテロアリール、および、随意に置換された - ($C_1 - C_2$ アルキレン) - (ヘテロアリール) からなる群から選択され、

R_{20} および R_{23} はそれぞれ、水素、随意に置換された $C_1 - C_6$ アルキル、随意に置換された $C_2 - C_6$ アルケニル、随意に置換された $C_2 - C_6$ アルキニル、随意に置換された $C_3 - C_8$ シクロアルキル、随意に置換されたアリール、随意に置換された - ($C_1 - C_2$ アルキレン) - (アリール)、随意に置換された $C_2 - C_9$ ヘテロシクロアルキル、随意に置換されたヘテロアリール、および、随意に置換された - ($C_1 - C_2$ アルキレン) - (ヘテロアリール) からなる群から独立して選択され、

R_{21} および R_{22} はそれぞれ、水素、随意に置換された $C_1 - C_6$ アルキル、随意に置換された $C_2 - C_6$ アルケニル、随意に置換された $C_2 - C_6$ アルキニル、随意に置換された $C_3 - C_8$ シクロアルキル、随意に置換されたアリール、随意に置換された - ($C_1 - C_2$ アルキレン) - (アリール)、随意に置換された $C_2 - C_9$ ヘテロシクロアルキル、随意に置換されたヘテロアリール、および、随意に置換された - ($C_1 - C_2$ アルキレン) - (ヘテロアリール) からなる群から独立して選択され、あるいは、随意に、 R_{21} と R_{22} はそれらが結合している窒素原子と一体となって、随意に置換された $C_2 - C_9$ ヘテロシクロアルキル環を形成し、

n は 0 - 4 であり、および、

p は 0 または 1 である、化合物、あるいはその薬学的に許容可能な塩または溶媒和物。

【請求項 2】

X_1 、 X_2 、 X_3 、および X_4 はそれぞれ CR_1 である、請求項 1 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な塩または溶媒和物。

【請求項 3】

R_1 はそれぞれ、水素、ハロゲン、随意に置換された $C_1 - C_6$ アルキル、- CF_3 、- OR_{10} 、- $N(R_{11})R_{12}$ 、- $C(O)R_{14}$ 、- $C(O)OR_{10}$ 、および- $C(O)N(R_{11})R_{12}$ からなる群から独立して選択される、請求項 2 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な塩または溶媒和物。

【請求項 4】

R_1 はそれぞれ、水素、ハロゲン、および- CF_3 からなる群から独立して選択される、請求項 3 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な塩または溶媒和物。

【請求項 5】

R_2 はそれぞれ、ハロゲン、随意に置換された $C_1 - C_6$ アルキル、- OR_{20} 、および- $N(R_{21})R_{22}$ からなる群から独立して選択される、請求項 1 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な塩または溶媒和物。

【請求項 6】

R_2 はそれぞれ、ハロゲンと随意に置換された $C_1 - C_6$ アルキルからなる群から独立して選択される、請求項 5 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な塩または溶媒和物。

【請求項 7】

R_3 は、水素と随意に置換された $C_1 - C_6$ アルキルからなる群から選択される、請求項 1 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な塩または溶媒和物。

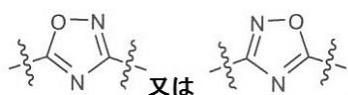
【請求項 8】

【化 4】



は

【化5】



である、請求項1に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な塩または溶媒和物。

【請求項9】

Z は $-O-$ 、 $-OCH_2-$ 、または $-CH_2O-$ である、請求項1に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な塩または溶媒和物。

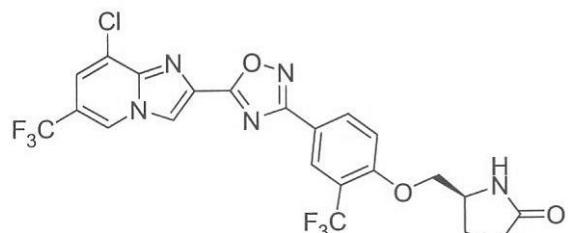
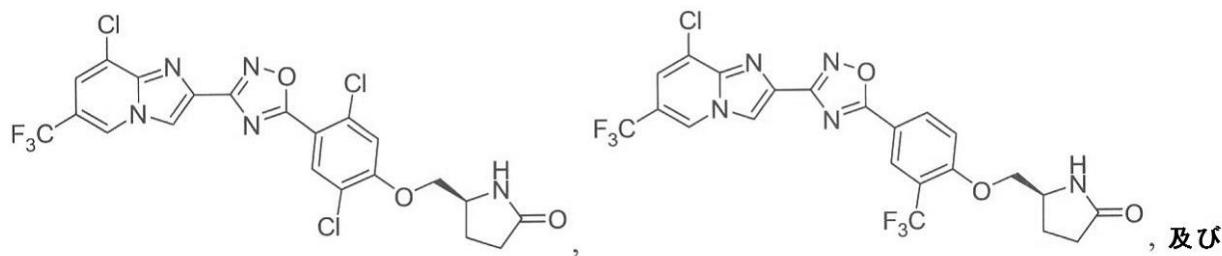
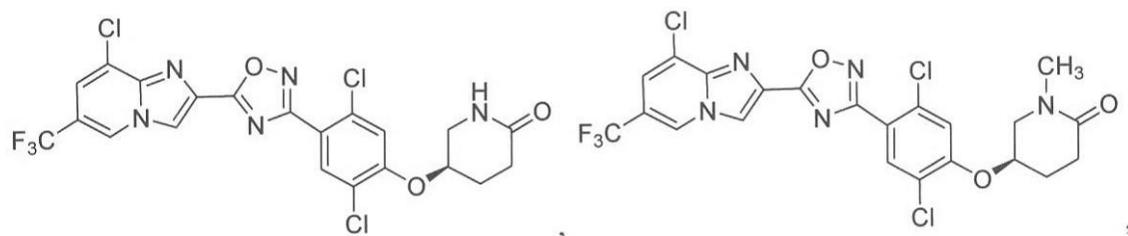
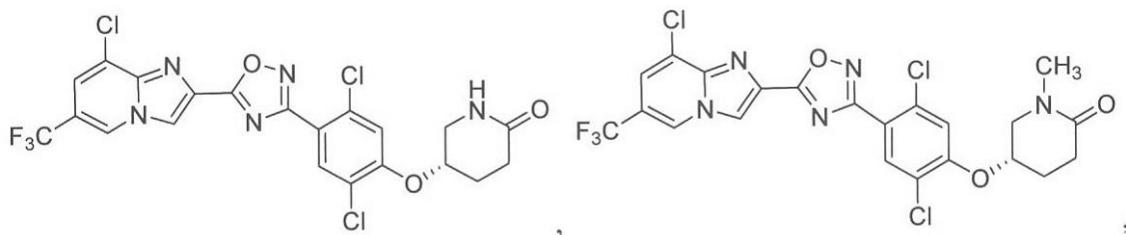
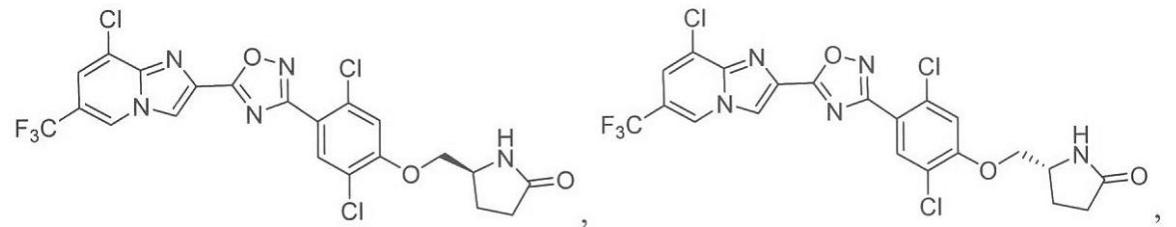
【請求項10】

n は1または2である、請求項1に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な塩または溶媒和物。

【請求項11】

以下から選択される、請求項1に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な塩または溶媒和物。

【化6】



【請求項 1 2】

薬学的に許容可能な希釈剤、賦形剤、または結合剤、および、請求項 1 - 1 1 のいずれか 1 つの化合物、あるいはその薬学的に許容可能な塩または溶媒和物を含む医薬組成物。

【請求項 1 3】

疾患、障害、または疾病を処置するのに使用するための請求項 1 - 1 1 のいずれか 1 つの化合物であって、疾患、障害、または疾病は、多発性硬化症、潰瘍性大腸炎、およびクローン病から選択される、化合物。